

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市在宅医療・介護連携推進会議 第 8 回連携体制等に関する部会				
事務局 (担当課)		在宅医療・介護連携支援センター 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 5 0 (直通) 医療政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 0 (直通)				
開催日時		令和 4 年 7 月 1 4 日 (木) 1 9 時 3 0 分 ~ 2 1 時 0 0 分				
開催場所		W e b 開催 及び ウェルネスさがみはら 3 階 集団指導室				
出席者	委員	1 4 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人 (別紙のとおり)				
	事務局	1 1 人 (在宅医療・介護連携支援センター所長、外 1 0 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		<p>1 開 会 ・委員の変更について</p> <p>2 議 題 (1) 人生会議普及啓発リーフレットについて (2) 令和 3 年度アウトリーチ事例検討会の結果について (3) 在宅医療・介護連携事例等発表会について (4) 在宅療養連携ケース(支え手帳)モデル事業のアンケートについて</p> <p>3 情報交換 (1) ハラスメント対策について (2) 訪問時等における駐車場対策について</p> <p>4 そ の 他</p> <p>5 閉 会</p>				

議 事 の 要 旨

1 開 会

- ・委員の変更について

神奈川県看護協会相模原支部 渡辺委員の退任に伴い、令和4年6月17日より阿部氏が委員に加わった旨、事務局より説明した。

2 議 題

- (1) 人生会議（ACP）普及啓発リーフレットについて

事務局より資料に基づき、配布状況を説明した。

○質疑、意見なし。

(佐藤委員) 利用する中で意見があれば、事務局へ連絡をお願いしたい。

- (2) 令和3年度アウトリーチ事例検討会の結果について

事務局より資料に基づき、説明した。

○質疑、意見なし。

- (3) 在宅医療・介護連携事例等発表会について

事務局より資料に基づき、在宅医療・介護連携事例等発表会について説明した。

(澤田委員) 地域密着型の事業所に話をしていただくことは良いことだと思う。

「地域密着型サービスを知る」等のテーマで話をしていただくと良いと思う。

(佐藤委員) 発表者については、小規模多機能型居宅介護支援事業所（以下、「小多機」という。）や看護小規模多機能型居宅介護事業所（以下、「看多機」という。）の他、訪問看護ステーションや医療ソーシャルワーカーにも意見を聞きたい。

(事務局) 事務局としても、居宅からの入院、入院から居宅に戻る際のMSWとの連携が必要と考えている。

(佐藤委員) 発表者については、小多機及び看多機に決定ということで調整をお願いしたい。時間が短いようであれば看取りの話も入れていくと良いと思う。コーディネーターについて、意見がないようなので事務局に一任する。

(事務局) 周知の範囲について、今回は近隣の自治体にも声掛けをしようかと考えているが、ご意見を頂きたい。

(佐藤委員) 当市に隣接する自治体への声掛けでどうか。他に意見は無いようなので、詳細は事務局に一任する。

(4) 在宅療養連携ケース(支え手帳)モデル事業のアンケートについて事務局より資料に基づき、説明した。

(佐藤委員) 特に意見は無いようなので、この内容でお願いしたい。

3 情報交換

(1) ハラスメント対策について

事務局より資料に基づき、行政のハラスメント対策について説明した。

(佐藤委員) ハラスメント対策は国のほか、県や市としても取り組んでいる。

(土田委員) 重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。大きく困ったことは無いが、サービス事業所のヘルパーからは相談があり、仲介をすることは多数ある。

(日高委員) 重要事項説明書に記載し、契約解除の説明をしている。改めて説明していることが抑止力になっていると思う。実際に起きた時に撤退して良いのかとのジレンマがある。

(佐藤委員) 入口にポスターを掲示をしたところ、減少した。

(澤野委員) 利用者のハラスメント問題で、家族を呼んで説明したところ、家族も初めて聞いたということもある。

(矢口委員) 地域包括支援センターではいきなり訪問して叱られることもある。対応について、所内で話し合っているのが現状。ポスターの掲示はしていない。

(田中委員) 県歯科医師会が主催するハラスメント対策の講習会で学んでいる。

(澤田委員) 生活や病気から来る苛立ちを原因とするハラスメントでサービスを停止したくない。

(阿部委員) 訪問看護では、なるべく二人で行くようにしているが、人員不足で一人で行かざるを得ないこともある。

(佐藤委員) 2人で訪問できる報酬体系も必要と思う。

(荒川委員) 医師の指示書で複数訪問が必要と指示をもらう。ヘルパーと訪問時間を合わせることもある。セクシャルハラスメントもあり、重要事項説明書で説明し、他の事業所の男性の訪問看護師に引継ぐ。スタッフには、訪問時の立ち位置や座る場所など、すぐに逃げられるように指導を行っている。

(斉藤委員) 転院支援をしても拒否するケース、他界するまで入院したケースもある。強制退院にできない。暴言も多く、恫喝もある。ポスターの掲示や、誓約書にも明記している。

(水上委員) 外来受付けで時間を待たせている時にあった。単独訪問は基本的に避けるようにしている。撤退でサービスが滞ることを危惧する一方で、自身の生命の安全面も疎かにできない。相談できる部署があると良いと思う。

(大塚委員) 施設開設間もない頃はあった。施設で対応できないことを要求してくる。要望が通らないと、毎日嫌がらせの電話などあり、職員が疲弊してしまった。専門職の使命感で職務以上の心障を受けながら働いている。施設として、どう対応するか研修を複数回実施した。必要以上に自己犠牲で自身が潰れるほどの対応をしない。対策として、恫喝には「怖いです」と切電、「警察に通報する」などの対応をする。訴えられた時の施設のリスクマネジメントも必要。正当な理由がなければ他の利用者に説明がつかないため、特例対応は良くない。

(佐藤委員) 市・県の医師会では、法律的な困りごとの相談を受け付けている。メディカルセンターでは、掲示をした上で急病診療、診察中の会話を録音している。苦情については検討する委員会があり検証している。法律の専門家などと話し合える体制が必要と思う。

(2) 訪問時等における駐車場対策について

(荒川委員) コインパーキングも増えてきているが、エリアによっては無い所もあり、駐車場所に苦慮している。訪問時間が長時間となることもあり、仕事に集中できず、スタッフも「現場に行きたくない」と言う。県の訪問看護の団体も悩んでいる。ステーション同士、薬局、クリニック等が連携し、駐車場を融通しあっているところもあると聞く。地域包括支援センターや事業所も困っていると聞く。職種間の連携の中で進めていただければと思う。

(日高委員) 横山地区では、コンビニ等、空いている駐車場を利用できるようにしている。地域により取り組んでいる。市のバックアップがあると良い。

(土田委員) 駐車禁止の除外の届けを警察に出している。

(水上委員) 医師の駐車禁止の除外の届けを出しているが、市民から通報されたり、通行の妨げになれば、交通違反とされたこともある。

(佐藤委員) 地域性もある。今後も継続的に情報を交換するテーマと考える。

4 その他

(大塚委員) 地域密着型サービスなど、小多機・看多機サービス事業所がどのようなところなのか理解されていないと感じる。ACPについても市民向けのリーフレットや事例検討会でも扱っているが、ACPとは何か、専門職向けに深掘りした研修などの機会が必要と思う。

平成30年の厚労省の調査によると、一般国民ではACPを知らない人が75.5%、専門職でもよく知っている人は、医師で22.4%、看護師19.7%、介護職員7.6%だった。専門職でも踏み込んだ知見で話せる人は少ないと感じている。

・介護予防促進モデル事業(高齢者補聴器購入費助成)について事務局より資料に基づき、説明した。

(佐藤委員) 補聴器の購入費補助をもとに医療に結び付け、介護予防事業に繋げる仕組みになっている。今後も進捗状況の報告をお願いしたい。

5 閉会

原則、審議と関係のない発言、単純な言い間違いなどを除き、発言者及び発言内容を記載する。

(別紙)

令和4年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議
 連携体制等に関する部会 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
	大塚 小百合	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	副会長	出席

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席
2	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
3	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
4	澤田 弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
5	阿部 徳子	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席
6	吉澤 明子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
7	斉藤 正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
8	土田 陽子	さがみはら介護支援専門員の会		出席
9	日高 明夫	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
10	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会	職務代理	出席
11	矢口 君代	地域包括支援センター		出席
12	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
13	荒川 雅子	一般社団法人相模原市医師会 (訪問看護ステーション)		出席